

寒翠細響軒

沢の池の北側に位置する茅葺き屋根の小さな建物で、建物の後ろの松林のやわらかな緑色をさす「寒翠」と、沢の池の澄んだ水の細やかな響きを表現した「細響」が名前の由来です。南側の障子を開けると、沢の池と唯心山、遠方の岡山城が一望できます。

寒翠細響軒など、園内の建物は月ごとに一般公開されており、予約して借りることができます。